

## SKYMENU 活用授業 実践レポート

名前	川田 竜平	学校名	習志野市立実花小学校
実施学年	小学校第4学年	教科	算数
单元名	「がい数とその計算」		

### 《学びを深めたいポイント》

本時は桁数の違う数を概数にするときには、上から1、2桁の概数にすることを理解することが目標である。四捨五入する位に目をつけて、概数の表し方を考えていく。

概数の考えをもちにくい児童には、どの位を四捨五入しているか、概数の表し方に共通点はないかを考えさせる。

概数の表し方には、主に2つの方法がある。

- ①ある位までの概数
- ②上から何桁の概数

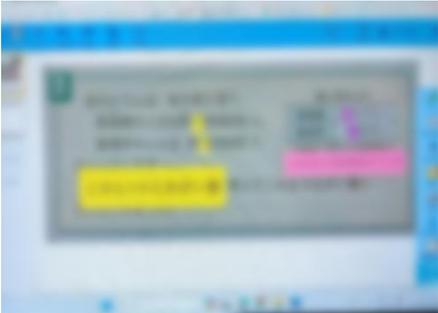
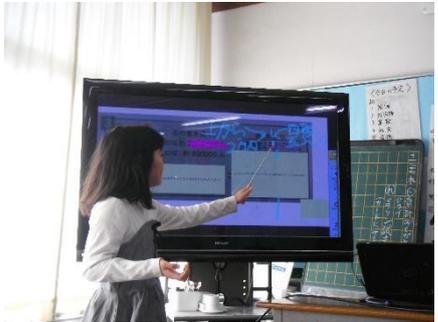
これらの表し方は、目的によって使い分けられる。例えば、和・差の概算では①が、積・商の概算では②用いられることが多い。これらのいずれにも対応できるように、基礎的な学習経験をさせておくことが大切である。

### 《SKYMENU 活用のポイント》

・本時では、算数の学習の展開場面（自力解決から比較検討）において SKYMENU を活用する。  
手順は以下の通りである。

- ①事前に教科書の問題を写真で撮影し、「発表ノート」にて背景化し、配付する。
- ②授業の展開場面（自力解決）において、配付された「発表ノート」をタッチペンまたは、文字入力かを選択させ、自分の取り組みやすいように入力させる。
- ③その際、今回の学習のポイントでもある桁数に注目できるよう、蛍光ペンの機能等の使い方について確認する。
- ④比較検討の際は、ペアで自分が入力した「発表ノート」を自分のタブレット画面を見せながら発表しあう。
- ⑤全体で「提出箱」へ提出された「発表ノート」から取り上げたものについて、大型モニターに映し、共有する。
- ⑥自分や友達との共通点について、一人一人自分のタブレットで「発表ノート」の一覧画面を見ながら考え、発表する。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導 入	○問題文をよみ、課題をつかませる。		
展 開	○表の人口と概数を比べ、その概数の表し方について考えさせる。  ○ほのかさんの概数の表し方について考えたことを話しあわせる。  ○適用問題に取り組ませる。	○SKYMENU の発表ノートに教科書の問題を背景化したものを配付し、入力させる。    ○ペアで画面を見せ合い自分の考えを発表し合う。  ○ライブ提出箱を活用し、発表する児童のワークシートを大型モニターに提示しながら全体で、友だちの発表を聞く。  	○タッチペンを用いて書くか、文字入力を用いて書くかを選択させ、自分のやりやすい方法でまとめさせる。  ○注目した桁数に蛍光マーカーをひかせるなど活用の仕方を確認する。  ○全体で共有ができるように「提出箱」へ提出する。  ○全体で大型モニターで映したり、各々のタブレットで友達の考えを見たりすることでどこに注目したのか理解を深めていく。
ま と め	○学習をふりかえり、まとめをノートにかかせる。		

《実践を振り返って》

- ・子供たちはいままでに SKYMENU を活用した経験が少ないので使い方を確認しながら進めた。慣れていくことでスムーズにかつ効果的に使えるようになるよう今後も積極的に活用していきたい。
- ・ノートを比べ、見やすく分かりやすいのが利点である。比較検討時において、友達と共有することに有効活用していきたいので、自力解決から友達に説明させることを意識させて入力できるようにしていきたい。
- ・友達との共通点や違いについても、一覧機能を使うことによって考えたり、話し合ったりすることができるので、対話する場面で今後も活用していきたい。
- ・子供たちは一生懸命に「発表ノート」を作成するが、夢中になって友達の発表中に操作することがないように留意したい。